

令和5年度 多面的機能支払交付金 事業説明会

■日時：令和6年1月18日(木) 13:30～

■会場：福島市市民会館2階 第2ホール



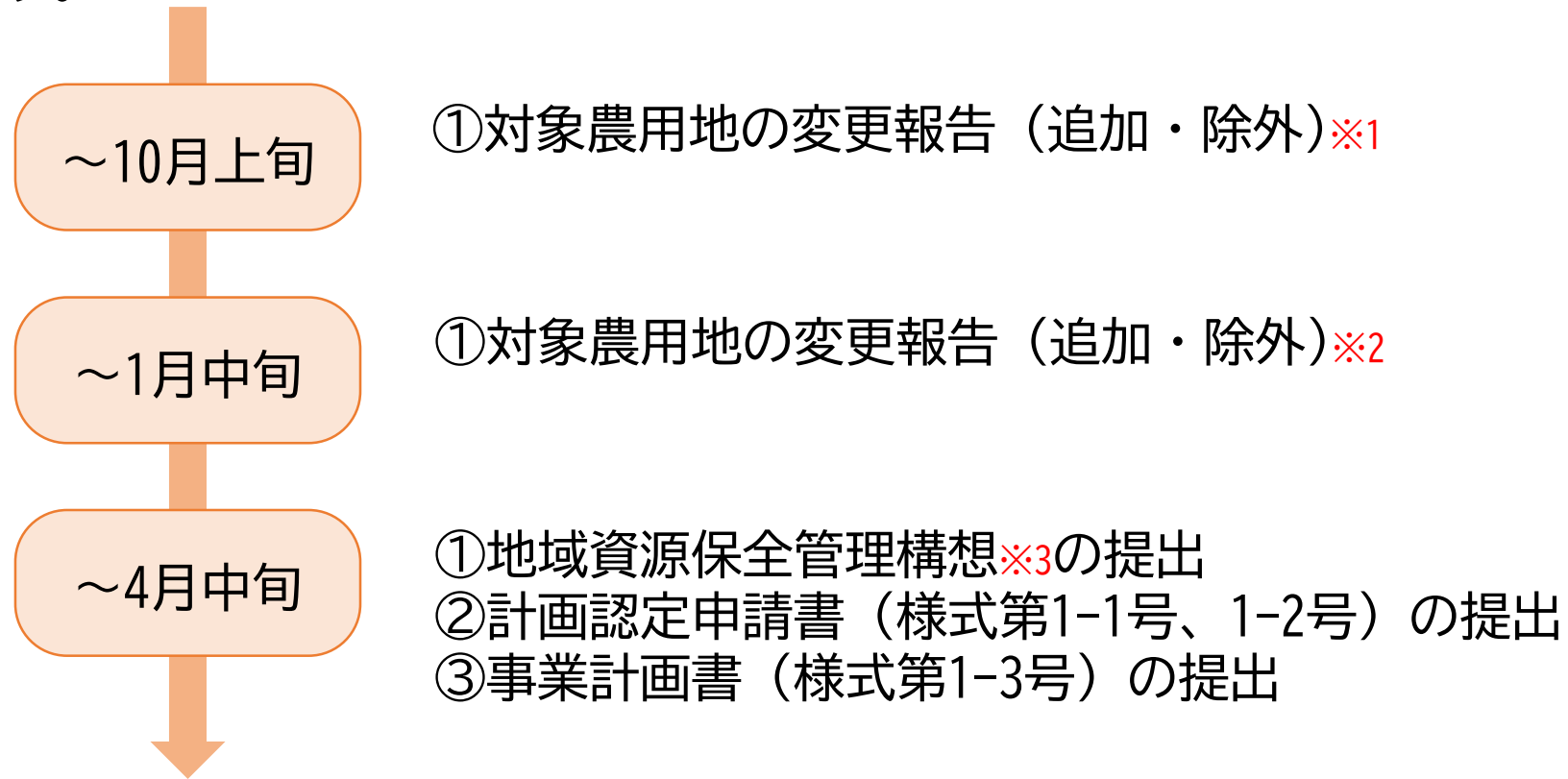
田んぼの学校の取組み(松川地区環境保全事業組合)

目次

1. 協定期間更新に係る対応について
2. 東北農政局の抽出検査について
3. 財産の譲渡について
4. 事務委託等に関する調査について
5. 広域化について
6. 留意事項

協定期間更新に係る対応について

農地維持・資源向上(共同)は5年間ごとに協定期間の更新、資源向上(長寿命化)は3年間ごとに新規採択申請が必要です。



※1 市で次年度予算編成を行うため、大幅な対象農用地変更が見込まれる場合には速やかに報告ください。

※2 例年1月に国へ予算の概算要求を行うため、この時点で確実性の高い情報が必要です。軽微な変更は3月末まで可能です。

※3 地域資源を将来にわたって保全管理していくための方針です。

協定期間更新に係る対応について②

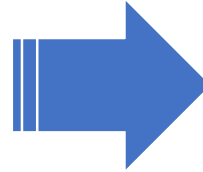
◆対象農用地調査

協定期間の更新に伴い、対象農用地を更新します。

※協定期間内に対象農用地を除外した場合、過年度に遡り交付金を返還する必要があります。

最終年度に現地確認を行った結果…

- ・宅地になっていた。
- ・背丈を超える草が生えていた。
- ・地目が変わっていた。



最終年度に対象農用地一覧表及び対象農用地位置図を送付いたしますので、ご活用ください。

(要望があれば、いつでも提供可能です。)

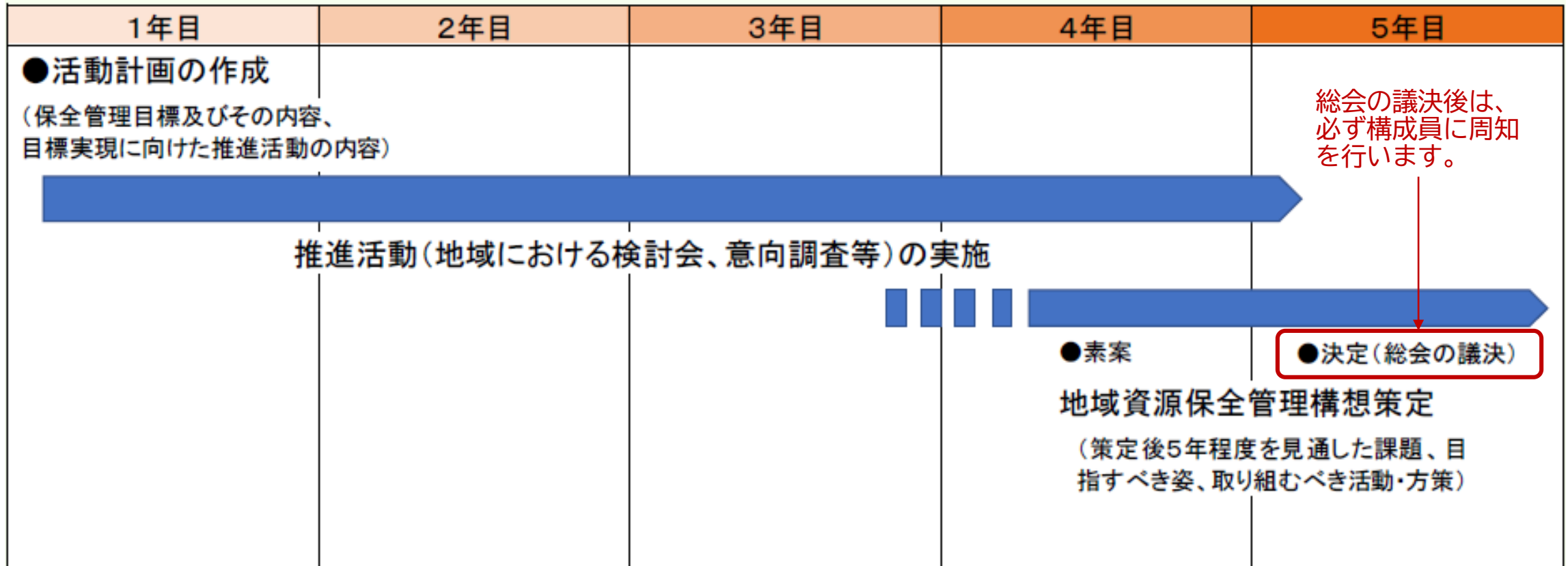
遊休農地発生防止のための保全管理（農地維持支払）等を活動計画に位置付けることで、遊休農地でも対象農用地とすることができますが、**協定期間内に遊休農地を解消する必要があります。**

協定期間更新に係る対応について③

◆地域資源保全管理構想とは？

地域で守ってきた農用地や水路、農道等の地域資源を、将来にわたってどのように引き継いでいけばいいのか、**協定期間内**に地域（組織）で話し合っていたいただき、構想としてまとめていただくものです。

<構想策定のスケジュール(参考)>



協定期間更新に係る対応について④

◆地域資源保全管理構想の話合いの進め方

①現状把握・資料準備

・共同活動時の情報交換や現地調査、アンケート調査等により地域の現状を把握し、資料を整理します。

②話し合いの場の設定

・入り作農家、土地持ち非農家、地域住民や女性、若手など幅広い参加を求めることが重要です。

③課題の抽出

・①で得た結果等を踏まえ、現在及び保全管理構想策定後、5年程度を見通して想定される課題について議論します。

④課題解決に向けた活動・方策の検討、実践

・③で抽出した課題解決に向けて取り組むべき活動や方策について検討します。



2. 地域資源の適切な保全管理のための推進活動

活動項目	取組	取組番号
地域資源の適切な保全管理のための推進活動	農業者の検討会の開催	17
	農業者に対する意向調査、現地調査	18
	不在村地主との連絡体制の整備等	19
	集落外住民や地域住民との意見交換等	20
	地域住民等に対する意向調査等	21
	有識者等による研修会、検討会の開催	22
	その他	23

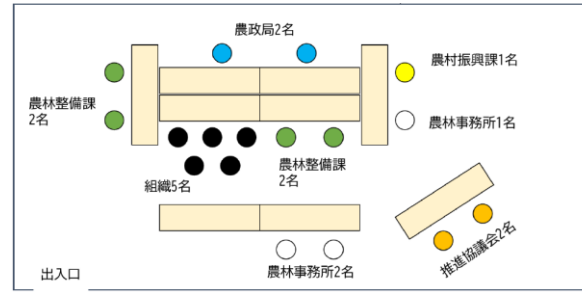
※保全管理構想の策定のための準備・実践活動は農地維持支払交付金において、**毎年度1項目以上の取組が必須**となっています。

東北農政局の抽出検査について

◆書類検査



- ・令和4年度実績報告書類一式の確認。



◆現地確認



- ・令和4年度長寿命化工事施工箇所の現地確認(1箇所)。
- ・竣工書類一式の確認。
(見積書、契約書、平面図、完成届、竣工写真)
※直営施工でも整理が必要。

検査のポイント

- (1) 出納の管理方法について
全国的に不祥事が発生している。→複数人で管理するよう努力すること。
- (2) 総会の議決結果について
構成員に遺漏なく周知を図ること。
- (3) 財産管理・譲渡について
 - ① 交付金により取得した財産は管理台帳で管理すること。
 - ② 取得した財産を管理者へ譲渡すること。(市または土地改良区)



(参考)円滑な組織運営のためのポイント

財産の譲渡について

市または土地改良区が管理する施設で、長寿命化工事等により生じた工作物等は所要の手続きを経て、譲渡する必要がある。

(様式第1-10号)

【活動組織が作成・保管するもの】

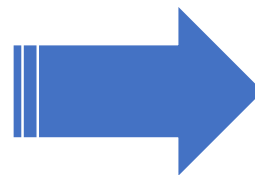
農林水産省様式

財産管理台帳

市町村名		対象組織名		活動期間		年度		～		年度				
事業の内容				工期		経費の区分			処分制限期間		処分の状況		備考	
名称	工種構造・規格	施工箇所 又は 設置場所	事業量	着工 年月日	竣工 年月日	総事業費 (単位:円)	経費内訳(単位:円)			耐用年数	処分制限 年月日	承認 年月日		処分の 内容
							国費分	地方費分	その他					

R5年度
取得分まで

令和6年度に譲渡手続き
(R元～R5年度分)



R6年度
取得分から

長寿命化交付金更新の
タイミングで譲渡手続き
(1～3年ごと)

財産の譲渡について②

令和 年 月 日。

福島市長 木幡 浩 様

組織名
代表者職氏名

農業用施設等の譲渡申請書。

このことについて、令和 年 月 日付け「多面的機能発揮促進事業に関する計画の認定について」に基づき、下記書類を添えて申請します。

記。

1 添付書類。

①財産管理台帳
②設計書（見積書）
③図面（位置図・平面図・構造図）

<財産譲渡申請手続きの流れ>

①財産管理台帳（様式第1-10号）へ取得財産を記録。

②長寿命化交付金の協定期間（3年間）が満了する年度の実績報告時に、以下の書類を提出。※1

(1) 農業用施設等の譲渡申請書

→必要な項目が記載されていれば様式は問いません。

(2) 財産管理台帳

(3) 工事見積書※2

(4) 位置図・平面図・構造図※3

※1 令和5年度取得分までは、令和6年度に譲渡申請手続き。

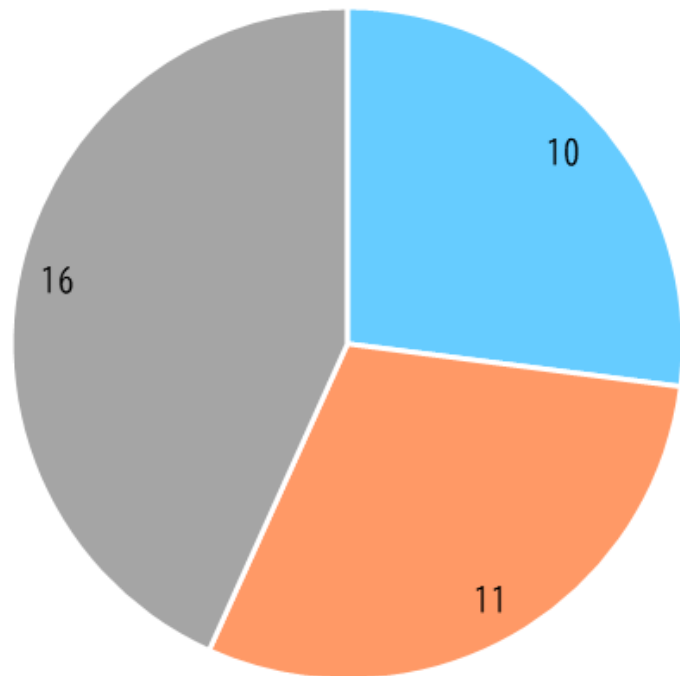
※2 工事実施前に農林整備課へ提出していない場合。

※3 工事実施前に農林整備課へ提出していない場合。

事務委託等に関する調査について①

◆調査結果集計（令和5年8月22日付け5林第513号文書にて依頼） 回答率56.7%（21/37組織）

設問1. (4)事務処理を負担に感じているか。



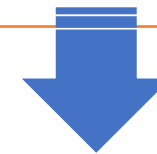
- ①負担に感じている。
- ②あまり負担に感じていない。
- ③未回答

①の意見

- ・ パソコンの使い方に慣れていない。
- ・ 各種取りまとめや書類作成が大変。時間がかかる。
- ・ 日当等支払時の不在が多く、時間がかかる。
- ・ 提出しなくてもいい書類の整理にも時間を費やす。
- ・ 年度末、年度始めは他の作業もあり、報告関係が大変。
- ・ チェック項目が多い。

②の意見

- ・ 役割分担をし、慣れた人がパソコンを担当している。
- ・ 効率的な整理を心がけている。
- ・ 事務支援システムを利用している。



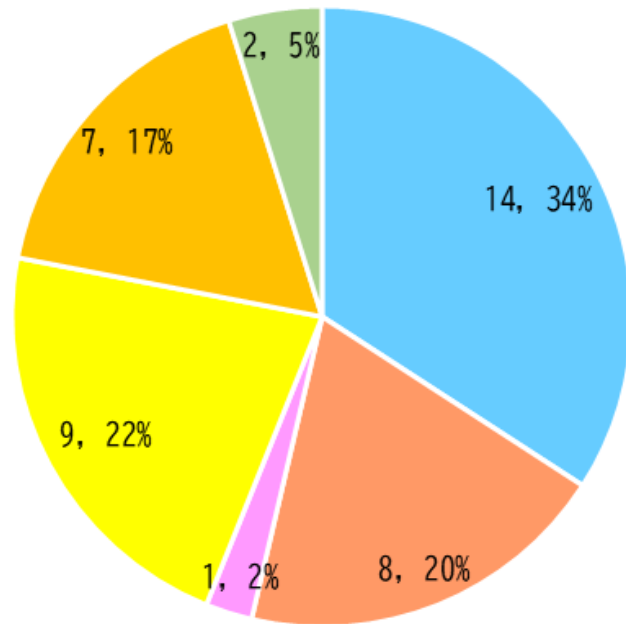
システム利用は21組織中5組織のみ（StafaleReport）。

事務委託等に関する調査について②

◆調査結果集計（令和5年8月22日付け5林第513号文書にて依頼） 回答率56.7%（21/37組織）

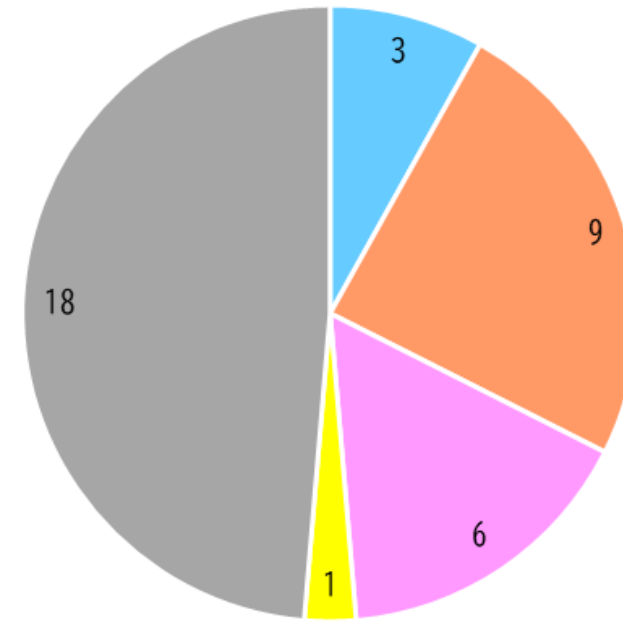
設問1. (6)最も時間のかかる事務作業

※複数回答可



- ①中間検査・実績検査に係る提出書類作成
- ②総会の開催に係る書類作成、各種調整
- ③農業用施設の補修・工事に係る地元及び業者との調整
- ④活動日当等の支払及び受領印徴収等
- ⑤作業日報（活動毎）の作成
- ⑥その他

設問1. (7)地域内の後継者について

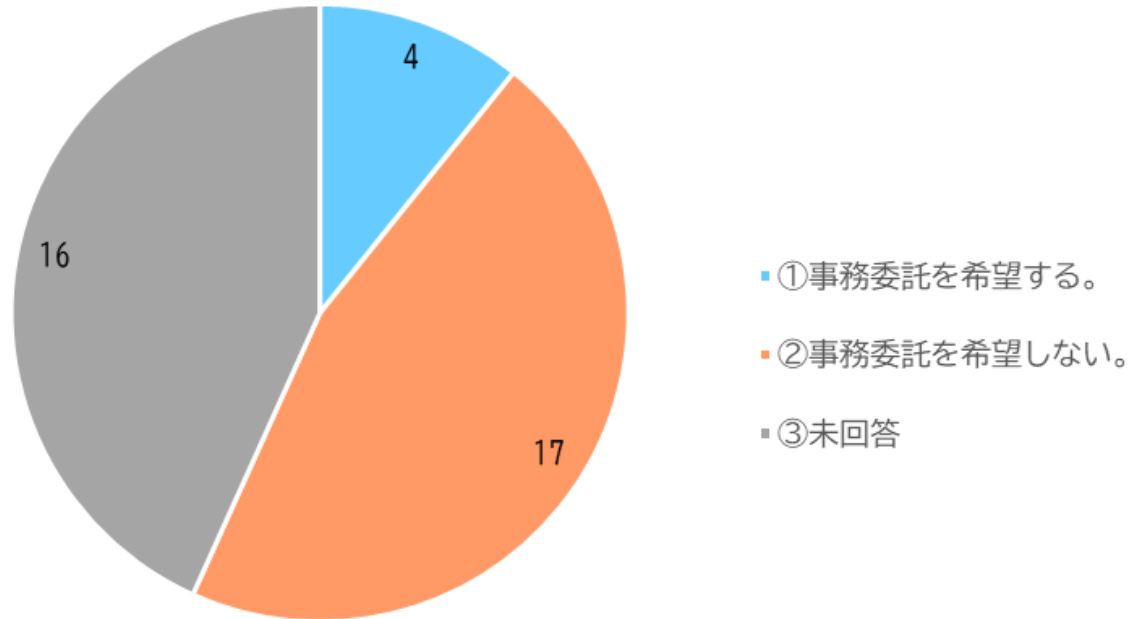


- ①今後事務を担う後継者がいる。
- ②後継者候補はいるが、事務の了承を得られない。
- ③後継者候補はいない。
- ④その他
- ⑤未回答

事務委託等に関する調査について③

◆調査結果集計（令和5年8月22日付け5林第513号文書にて依頼） 回答率56.7%（21/37組織）

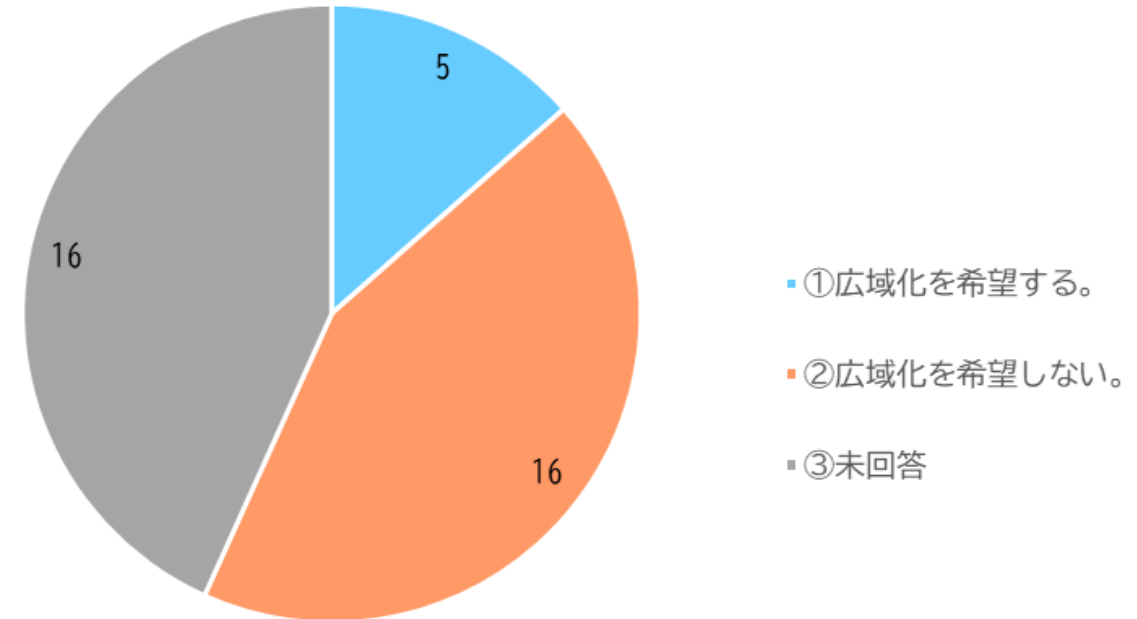
設問1. (8)事務委託について



②の意見

- ・ 必要性(効果)を感じない。
- ・ 委託費を捻出できない。
- ・ 今の事務量であれば自分たちで対応できる。
- ・ 委託により逆に効率が悪くなりそう。

設問2. (3)広域化について



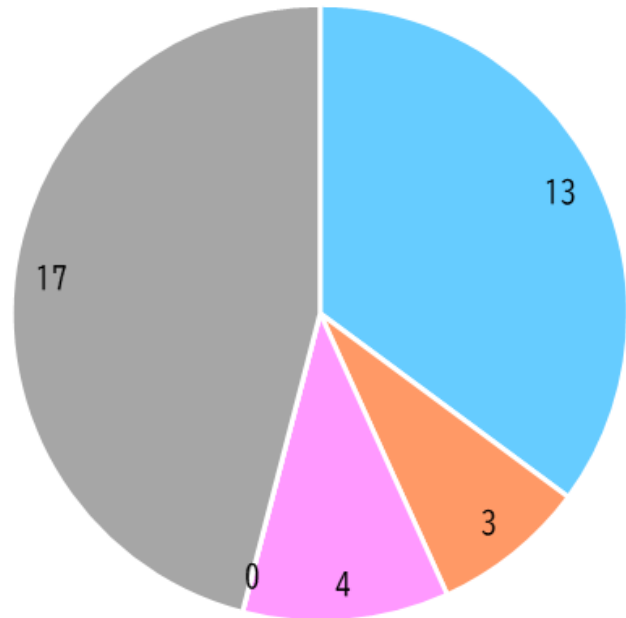
②の意見

- ・ 小さな組織(集落)単位で活動したい。
- ・ 地区ごとに考え方や決まりが異なるため、意見の調整が難しいと感じる。まとまらないと思う。
- ・ 逆に事務負担が大きくなると思う。

事務委託等に関する調査について④

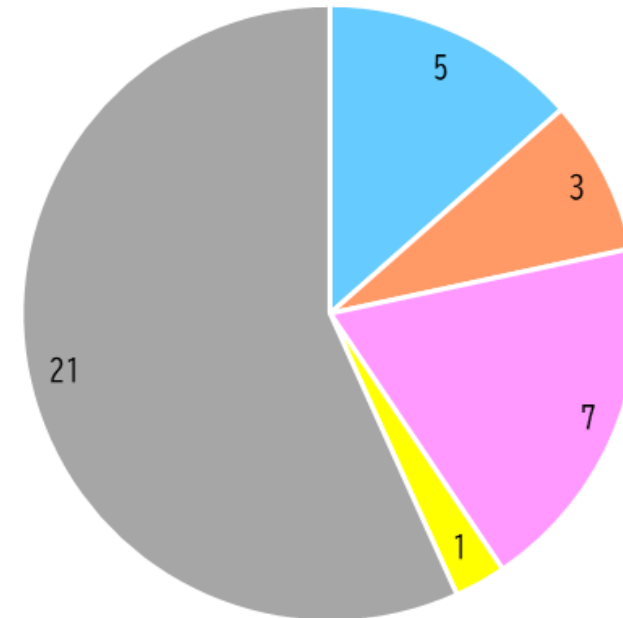
◆調査結果集計（令和5年8月22日付け5林第513号文書にて依頼） 回答率56.7%（21/37組織）

設問3.(1)-1 今後5年間について



- ①現在の組織体制に問題はなく、活動の継続が可能。
- ②事務委託や広域化が実現すれば、活動の継続が可能。
- ③活動の継続は困難。
- ④その他
- ⑤未回答

設問3.(1)-2 今後10年間について



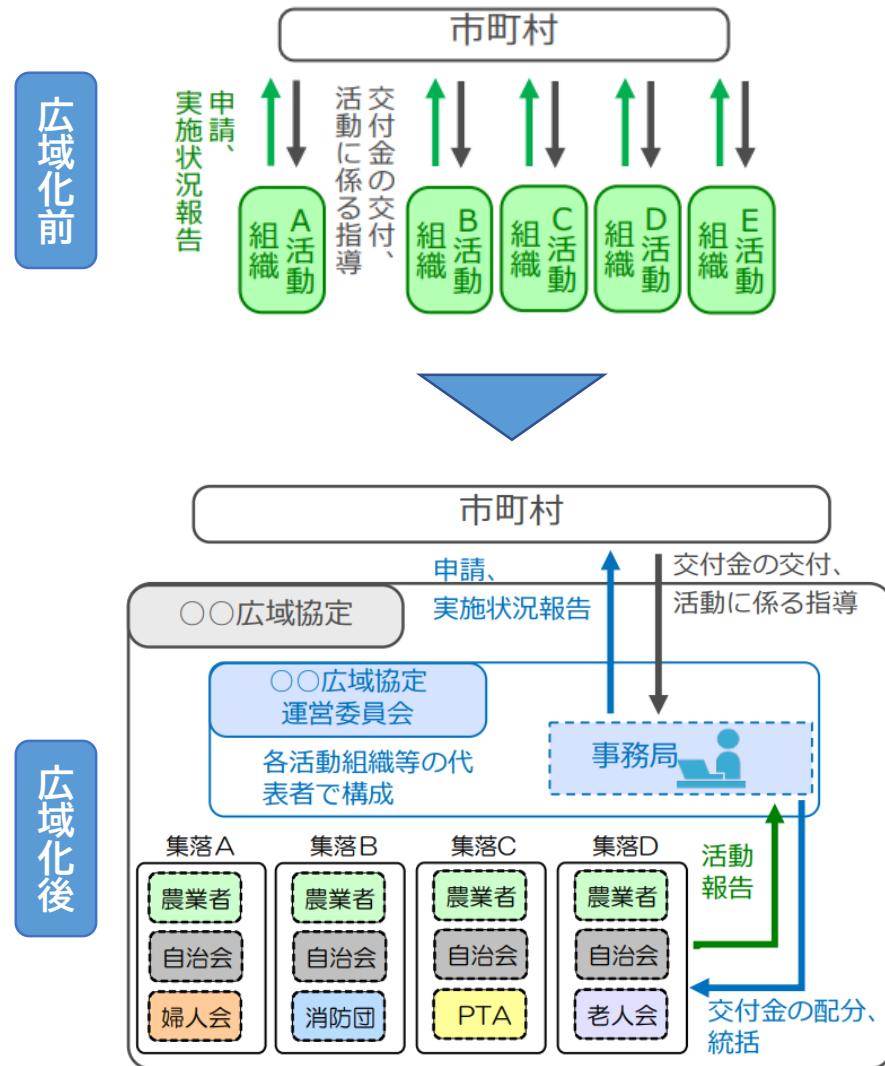
- ①現在の組織体制に問題はなく、活動の継続が可能。
- ②事務委託や広域化が実現すれば、活動の継続が可能。
- ③活動の継続は困難。
- ④その他
- ⑤未回答

③の意見

- ・高齢化が著しい。
- ・あと5年間は何とかなりそうだが、その後は見通せない。
- ・就農者自体減少している。
- ・圃場そのものの維持が困難となる。

広域化について①

◆広域活動組織の運営体制



◆広域化のメリット

(1)事務負担の軽減

大量の書類作成や会計処理、外注や保険加入等の事務手続き等を事務局が行うため、**事務負担を大幅に軽減**できます。

(2)柔軟な交付金配分

広域化により増額となる**交付金を柔軟に活用**できます。
(小規模組織への追加配分、優先度の高い施設の補修、農村環境保全活動の充実等)

(3)活動要件の緩和

扱いは大きな1組織のため、**すべての地区(組織)で実施必須項目に取組む必要がなくなり**、草苳等基礎的な保安全管理に集中できます。

◆広域化のデメリット

(1)調整に時間がかかる

広域活動組織を立上げるには、合意形成や組織方針の決定、委託先の確保等、1年程度の時間を要します。

※**先を見通した体制づくり**をすることが大切です。

広域化について②

◆意見と回答

◇小さな組織(集落)単位で活動したい。

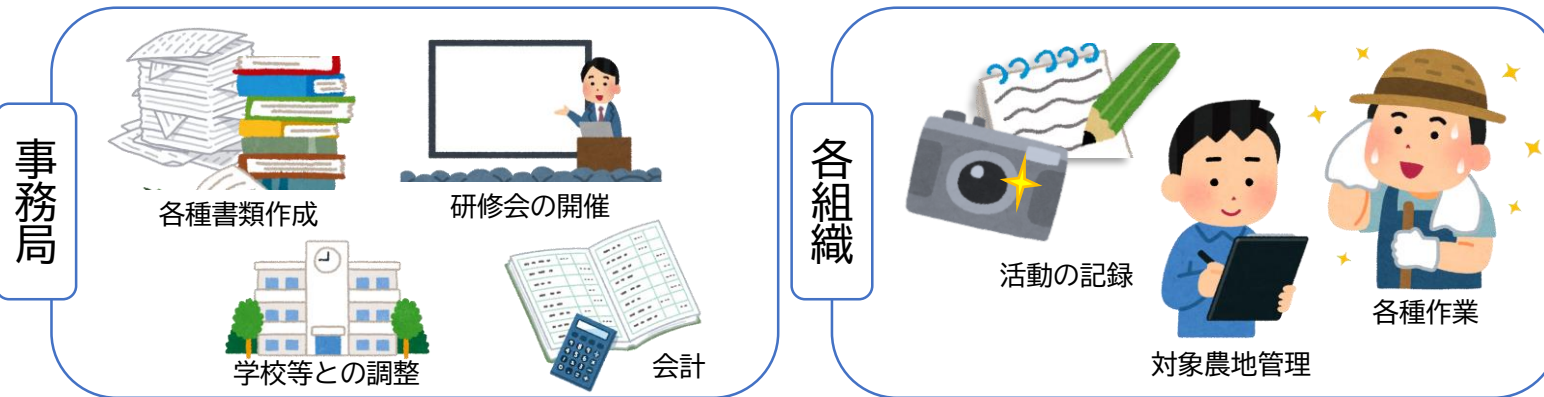
→**実際の活動範囲**、**意見調整はこれまで通り**行えます。
※いざという時に組織間で人・金・モノの融通が利くが、必ずやらなければいけないわけではありません。

◇意見の調整が難しいと思う。

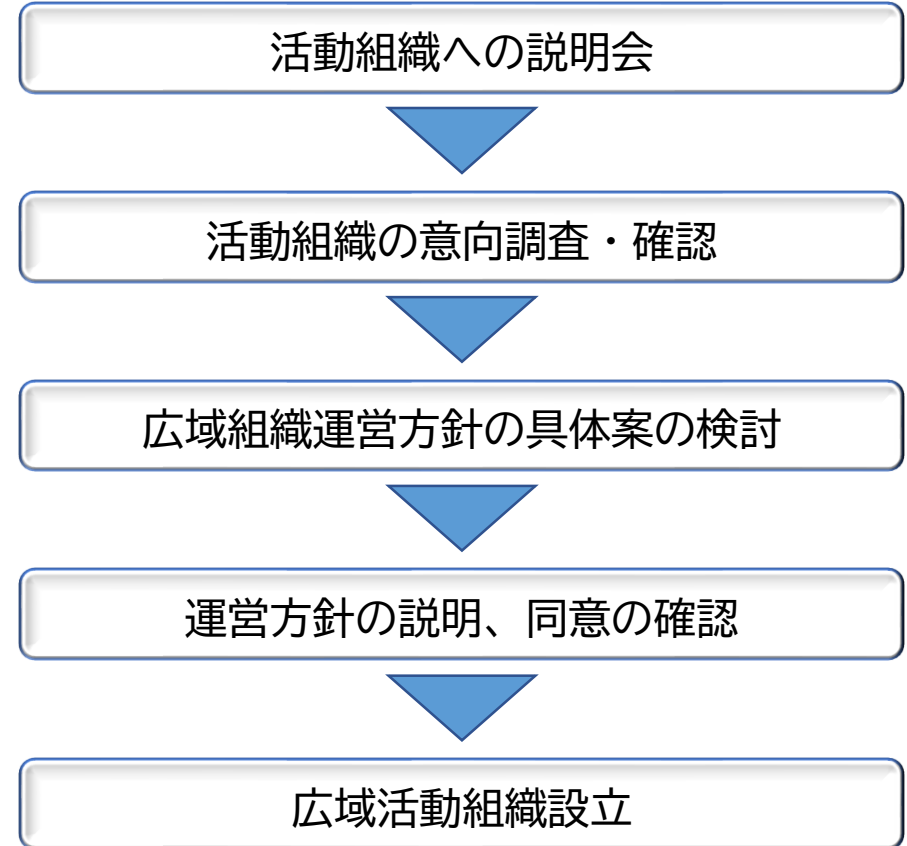
→広域活動組織には、各地区のルールを統一している組織もあれば、地区ごとのルールを変えていない組織もあります。
※**広域活動組織設立時に方針を決定**。日当金額も**地区ごとに定めてOK!**

◇逆に事務負担が大きくなると思う。

→これまでの**事務の大半を事務局へ委託**することができます。



◆組織立上げの手順



※検討事項

- ・運営体制 (規約、役員等)
- ・事務局 (人数、委託先(事務所)、委託内容等)
- ・交付金 (単価関係、配分のルール等)

留意事項

◆代表者変更届

代表者、または代表者の住所・連絡先が変更となる場合には速やかに農林整備課へご連絡をお願いします。

◆役員変更届

協定期間の更新に伴い、役員の変更がある場合は変更した役員一覧表を農林整備課へご提出ください。

◆事故報告書

近年、東北管内で重大事故が複数報告されています。

万が一共同活動時に事故が発生した場合には、大小問わず速やかに農林整備課へご連絡をお願いします。

◆その他

多面的機能支払交付金について組織で今悩んでいる事や、あると便利だなと思っているもの（図面や台帳等）については農林整備課にご相談いただくことで解消できる場合があります。

是非お気軽にお問い合わせください。

令和5年度 多面的機能支払交付金



活動組織間意見交換会

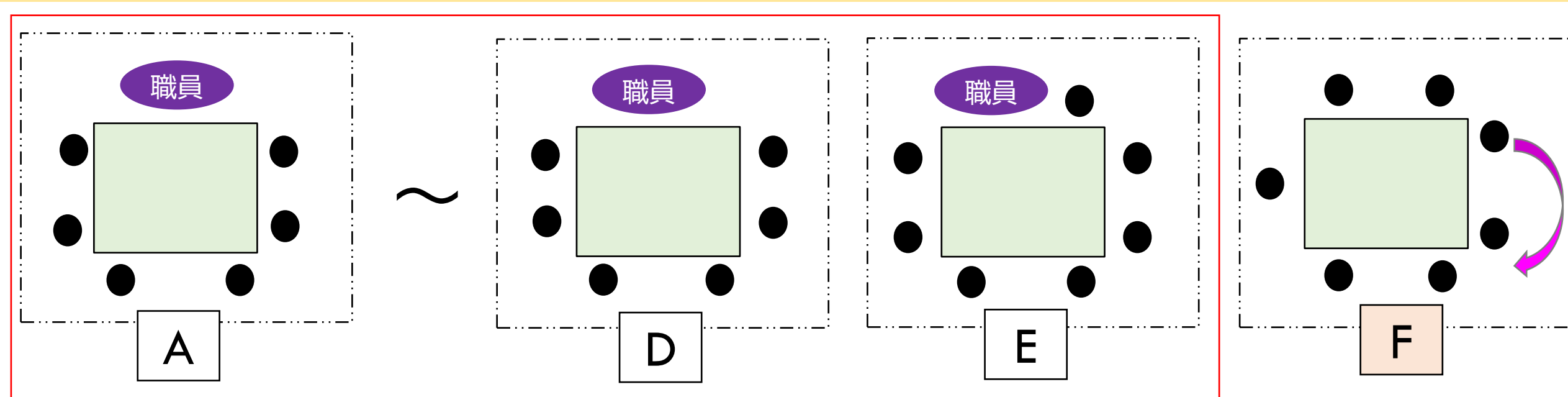


日時:令和6年1月18日(木) 14:30~
会場:福島市市民会館2階 第2ホール

学童クラブ・幼稚園・保育園の子どもたちによる案山子コンクール

(仁井田地域資源保全会)

意見交換会の進め方



- A～Fのグループに分かれる(1グループ6～7名)
※出席者名簿に記載しておりますので該当のグループへご移動をお願いします。
- A～Eグループに1名、農林整備課職員が参加し、意見交換会を進行します。
Fグループには職員がおりませんので、組織の方々同士で積極的な意見交換をお願いします！
- 閉会前に、グループ内で本日出た意見を抜粋し全体へ共有します。

意見交換会の流れ

(20分)

動画視聴①

広域活動組織 について



(30分)

意見交換

- ・三重県多気町における取組事例
地域の課題とは？ 広域化組織を立ち上げた経緯
- ・広域化のメリットを生かしたサポート体制の充実
- ・小中学校と連携し地域を担う人材を育成



(20分)

動画視聴②

田んぼビオトープ について



- ・営農が困難な農地をビオトープへ有効活用
- ・生物たちの棲み処を守り、子どもたちの学びへ繋げる

(5分)

各グループで出た意見を全体へ共有



閉会

地域のつながり強化

広域活動組織

意見交換のテーマ

動画では、集落を超え分野に特化したサポート体制を整えることで、単独集落では為し得なかったことに協力して取り組んでいました。

▼いま組織が抱えている課題はありますか？

また、その課題に対し取り組んでいることがあれば皆さんと共有しましょう！

▼組織の強み(特に力を入れている活動)は何ですか？

あるいは、これからこんな活動してみたい！など 自由にアピールしてください。

動画では、農業施設等の修繕と並行して、それを使う将来の後継者を育成していかなければならないと話していました。

▼地域の後継者育成について、取り組んでいることはありますか？

ある場合、どんなことに取り組んでいるのか ぜひ聞かせてください！

ない場合、どうすれば後継者を確保していけるか 話し合ってみましょう。

多面的機能の増進

田んぼバイオトープ



本日はご参加いただきありがとうございました。

福島市農林整備課 農業施設係